

ふじばやし通信



小さな声こそ たいせつに 2025年11月号

ふじばやし詠子後援会

〒830-0027 久留米市長門石4-8-30
携帯 090-4779-4862
メール eikofjb@icloud.com
FAX 0942-35-4511
ホームページ 藤林詠子 検索



すべての5歳児にCAPプログラムを！

9月議会



藤林の質問は、録画映像でご覧いただけます。
(46分間)

ふじばやしの提案



- 公立保育園で行っているキャップCAPプログラムをすべての5歳児に提供する
- 里親制度の普及啓発を
- 県の児童相談所と市の人事交流を
- 中核市として久留米市の児童相談所設置検討を

初めて傍聴に参加させて頂き、感動しました。もっと多くの市民や関係者にも聞いてほしいと強く思いました。

傍聴しました



虐待の現状や対策、里親制度など知らないことが多かったです。
児童相談所の設置も居場所づくりも、必要なことを訴えていただいていることに感謝です。
いろいろな場所に足を運びたくさんの人と語り、何が重要か考え、たくさんの書類にも目を通され…、すごいですね。
私たち一般市民ができること、NPO法人としてできることは何か、あらためて考えさせられました。

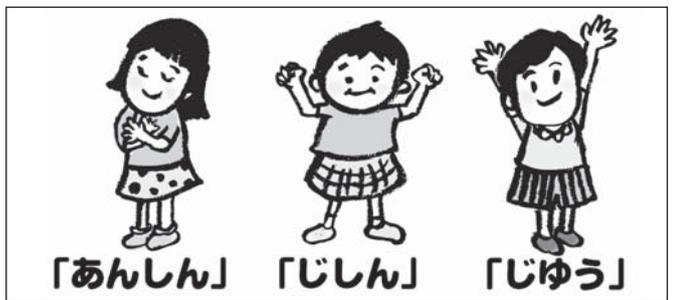
久留米市で5歳の子が母親による虐待で死亡した事件から15年が経ちました。その後、久留米市では死亡事件は起きていません。ふじばやしは、この事件も含め、子どもへの傷害罪で親が逮捕される事件の裁判はできるだけ傍聴してきました。そして、裁判からわかることを施策に反映させようと議会で提案してきました。

その後、市は、社会福祉士の採用、職員研修などを行ってきました。また、学校や保育園、主任児童委員や民生委員さん達の研修・連携が増え、「じじっか」など子どもに関わる団体が増えました。さらに、4年前からキャップCAPプログラムを小学校4年生全員に提供し始めました。「虐待をみつける」だけでなく「子育てや子どもの支援」に官民で幅広く取り組んできました。

最近、児童虐待件数は増えてきているものの、重大な事案は起きていません。これは、多くの方々の努力の成果です。成果が出ていることを官民多くの関係者と共有したい、市長にも共有してほしいと思い、今回、9月議会に質問に取り上げました。さらに今後、**子どもの権利をまもり、子育て応援をすすめるために、次のことを提案しました。**

キャップCAPプログラムとは 子どもへの暴力防止プログラム

子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・性暴力などさまざまな暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラム



令和6年度決算委員会でふじばやしが提案しました
安心して相談できる相談室、窓口

市役所の相談室や窓口は 隣に声が聞こえる、狭い、「きれいではない」など市民の不満をききます。

安心して個人的なことを話せるように改善してほしい。



市 調査して課題をまとめます。

人工芝は、マイクロプラスチックになる

敷物、マットとして便利な人工芝は、削れて、川、海に流れ、海洋生態系に影響を与えると問題になっています。公共施設で人工芝の使用中止や流出防止の管理をきちんとしてほしい。



市 環境部から各公共施設に知らせます。

カラーユニバーサルデザイン

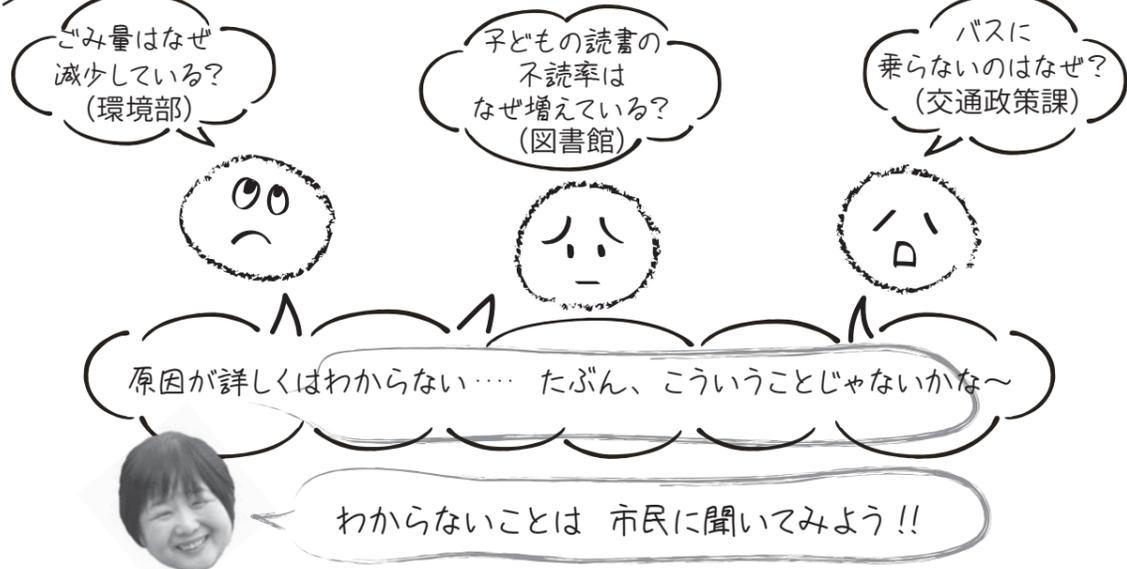


緑色が白っぽく見えたり、赤と緑、黄と黄緑が見分けにくいなど、色の見え方の特性がある人は、日本人男性の20人に1人、女性の50人に1人いるそうだ。市の広報誌や公共施設のサインを、色の見え方の多様性に配慮したものにしてほしい。色のコントラストを工夫し、形や文字も含めて表示するなどしてほしい。

市 職員研修を行い取り組みます。

- デートDV防止講座をすべての中学校で実施してほしい。予防教育は、DV加害者、被害者を生まないために効果的。
- スクールソーシャルワーカーに子どもが直接相談できるようにしてほしい。子どもが家庭の心配なことを直接話せる機会をつくるべき。
- 夜間中学校、学びの多様化学校の検討してほしい。

9月議会 **わからないことは、市民に聞こう**
市民参画は、遠回りのようで近道



行政計画策定のために市は、市民意識調査などを行いますが、調査結果とその背景や要因との因果関係が分かりにくくなっています。人の生活は多様で、推測には限界があります。

不登校対策で新たな展開ができたきっかけは、久留米市不登校対応方針策定委

員会に不登校経験者や保護者が入ったことでした。

同じように、「当事者に聞く、当事者と計画をつくる、事業実施や評価も市民と共にする」ことがもっと必要です。

市は、「市民参画を広げる工夫をしていく」と答えました。



傍聴しました

「わからない事はわからないと言って聞いていく事が大切」との藤林さんの発言に、ウンウンとうなづきました。誰にも言える事ですよね。

初めて傍聴させていただき、議会で発信していくことが大事であると実感しました。住民がつくる「居場所、小さな拠点、つながり」の質問で、インフォーマルな活動が大事であることを十分に伝えて

いただきました。多くの行政計画があり、担当課の連動性はどうかしているのだろうと疑問に思っています。現場レベルで顔の見える関係はできてきましたが、最終的には、仕組みづくりになるかなと思っています。

9月議会 **本が6千冊買えなかった**

豪雨の影響は、市民生活全般に、そしてその後の財政運営に及ぶ

予算	決算	差
3,835万円	2,930万円	▲905万円
23,788冊	17,746冊	▲6,042冊

令和5年7月豪雨の災害復旧費用のため、イベントや備品購入など廃止・縮小した事業がたくさんあります。

図書費は、その一例です。買えなかった6千冊分を令和6年度、7年度に増額しているわけではなく、災害は、被害を受けた市民だけでなく、市民生活全般に影響を与えました。

一方、災害対応で減った基金(市の貯金)10億円は、その後、回復できていません。今後の災害などの危機に備えるには、基金を積み必要があります。



傍聴しました

私は、昨年、被害のひどかった竹野小付近を通り、復興の祭が行われているのに出くわしました。一生懸命に復興に取り組んであることが伝わってきました。藤林さんの質問で図書費が削られているのを知り、災害復興と文化的な事の前分配が本当に難しいなと感じました。地元の学校で読み聞かせボランティアをしているので、図書費の削減は痛いと思いました。

電動車いすで傍聴に行きましたが、議場の入口が自動ドアではないので入れません。そして車いすのスペースが2つしかありませんでした。



小倉 ◆日本精神保健福祉士協会全国大会に参加



23日 ◆久留米運送労働組合地域交流会に参加

22日 西鉄久留米駅周辺の若者を支援している藤野荘子さん(あいむ)の講演

20日 「社会的養護等全国自治体議員ネットワーク・わっか」で、静岡市里親家庭支援センターなどを視察



17日 映画「不屈の夏」上映会。難病ALSになつた畠中一郎さん(久留米附設高校出身)が患者支援の財団をつくり、フランスのALS患者オリビエさんの活動を描いた映画を全国で上映。久留米の上映会をお手伝いし、丁寧に生きることをいとおしく思うことなど考えた。

15日 久留米空襲の演劇「青色と灰色の境界線」を鑑賞

11日 久留米空襲慰霊祭

9日 被爆80周年 長崎原爆犠牲者平和祈念式典に参列



5日 筑後川花火大会 障害者席でボランティア

21日 岐阜市で障害者の自立と政治参加をすすめるネットワークの全国大会

20日 盲人協会青年部九州大会で、防災の講演をした。

7月



ふじばやし あっちこっち



14日 カラーユニバーサルデザイン研修

13日 徳永哲也さん(ペンシャワール会理事長)の講演「アフガンに命の水を」と中村哲医師が歩いた道と志



10日 長門石校区敬老会に来賓出席



9日 武雄にある炭鉱住宅(ふじばやしの炭鉱家)を東京理科大学(岡崎)の先生が見に来られた。炭鉱住宅の研究をしているグループだ。

7日 久留米市身体障害者福祉協会創立70周年記念福祉大会で、身障協会の歴史とこれからの歩みについて講演をした。

6日 講演「不登校のミカタとソーシャルワーク」にオンラインで参加(ダンデライオン主催)

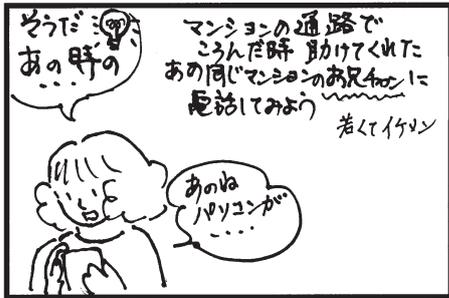
9月

31日 ◆福岡市立きぼう中学校(夜間中学校)の報告を聞く ◆社会福祉法人拓く25周年パーティーに出席

9月14日 六角堂広場でダンスを踊ったポップコーンの二人と

お願い事

作：あい



ふじばやしは
まさきせあき子さんを
応援します

大木町では、非課税世帯に6,000円のお米券が届いたそう。小郡市は非課税世帯は3万円、追加で子ども1人あたり2万円だ。久留米市も何らかの対策を取ってほしい。

物価高の影響が生活費に響いています。今まで続けてきた募金をやめました。



物価高が止まらない



年金生活の私は、半額シールを探してスーパーを徘徊しています。

今年の夏はスイカもブドウも梨も買えませんでした。果物はぜいたく品になりました。

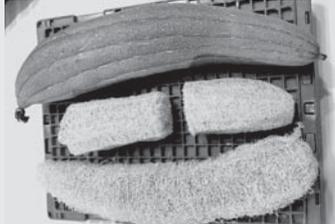
正社員ですが、夜、スーパーのレジでバイトを始めました。会社には内緒です。先のこといろいろ心配だから。



賃金上昇が物価上昇に追いつかない。年金は、上がらない。格差の問題は解決できてない。この状況は国の政策で根本的に改善すべきと思います。

1回きりの給付金では、根本的なことは解決しませんが、今の状況では、市が低所得世帯への給付を行うのも一案だと思います。

近ごろの藤林家



去年、えーるピア文化祭のバザーで買ったへちまが食器洗いとして使い勝手がよく、使った後は土にもどせるし、エコで感動しました。

友人に頼んで種と苗を分けてもらい、初めてへちまを植えました。1本の苗だけがぐんぐん育ち、へちまが30本以上とれました。

乾かすのに失敗もあったけど、スポンジがたくさんできました。

がまんせず、最後のセーフティネット、生活保護の相談をふじばやしにご連絡ください

先日、ある方の生活保護申請に同席しました。電気代の滞納で電気をとめられて親戚の家で過ごしたという話をきいて、生活保護をすすめました。

「実は、友人と一緒に市役所に連れて行ってきて、生活保護の説明を聞いたが、まだわからないことがあって申請をためらっている」とのことでした。私から説明したところ、納得し、申請を決められましたので、一緒に生活支援課に行き、手続きをされました。

生活自立支援センター（市役所3階）

家賃が払えない、食費がない、借金が返せない、ひきこもり等生活の中で困りごとの相談ができます。

電話 0942 - 30 - 9185 (西部) 0942 - 30 - 9113 (東部)